



アジアのストリート発、新たな表現を拓くダンス

DANCE DANCE ASIA—Crossing the Movements 東京公演 2018

開催決定！

◆2018 年 3 月 23 日（金）～25 日（日）◆

東京芸術劇場シアターイースト（東京都豊島区西池袋 1-8-1）

株式会社パルコは、国際交流基金アジアセンター（以下、アジアセンター）と共催し、2018 年 3 月 23 日（金）～25 日（日）の 3 日間、東京・池袋の東京芸術劇場シアターイーストにて日本と東南アジアを代表するストリートダンサーの共演「DANCE DANCE ASIA—Crossing the Movements 東京公演 2018」（「ダンス・ダンス・アジア ～クロッシング・ザ・ムーヴメンツ～東京公演 2018」）を開催します。

DANCE DANCE ASIA は、舞台芸術の「新しい表現手法」としてここ数年来、高い関心が寄せられているストリートダンスを軸としたパフォーマンス作品を制作・発表するプロジェクトです。プロジェクトの実施を通して、アジア域内の交流促進と新たな文化の創造を目指すべく、2014 年にスタートしました。2015 年、2016 年と東京および東南アジア各地で公演を重ね、国内外の様々なメディアで取り上げられるなど、意欲的な作品発表と文化交流の場は年々注目を集めています。

4 年目を迎えた今回の公演は、フィリピンから Vince Mendoza（ヴィンス・メンドーザ）日本から黄帝心仙人（こうていせんじん）、そして、インドネシアから Hamdi Fabas（ハムディ・ファバス）の 3 人を演出・振付家として起用、多国籍で構成される気鋭のダンサーたちとともに、多彩な表現力と卓越したテクニック、音楽が融合された 3 作品を披露します。

Vince の作品『Hilatas <君を導く光>』は、2016 年 12 月に DANCE DANCE ASIA 東京公演で初演した同名作品の長編化。作品の芸術性と円熟味を更に深めるため、今回はピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団出身の世界的なダンサー・振付家で、日本の演劇界にも繋がり深い Fabien Prioville（ファビアン・プリオヴィル）を振付補佐・ドラマトウルクとして起用します。カンヌ国際広告賞をはじめとして前人未踏の 23 タイトルを自身が振付・出演したユニクロの TVCM で獲得した気鋭のクリエイター黄帝心仙人、インドネシアのダンス・アイコンとして名高い Hamdi Fabas の作品と共に、パフォーマンスの新たな頂きと文化交流の最新ムーヴメントを東京で披露します。ぜひ、劇場をご覧ください。

【広報に関するお問い合わせ先】

DANCE DANCE ASIA 広報担当：左近充（さこんじゅう）
TEL：090-8026-1390 MAIL：h.sakonju@prime-jpn.com

株式会社パルコ エンタテインメント事業部 担当：中西、大川
TEL：03-3477-5857 MAIL：theatre@parco.jp

DANCE DANCE ASIA-Crossing the Movements 東京公演 2018 開催概要

公式 HP：<http://dancedanceasia.com/>

【公演日程】2018年3月23日(金)～3月25日(日)

※各回とも3作品全ての上演となります。

3月	23日(金)	24日(土)	25日(日)
13:00		○	○
18:00		○	
19:00	○		

【会場】東京芸術劇場 シアターイースト

【チケット】一般3,500円(全席指定・税込)

※ご同伴のお子さまの割引販売がございます。(2,000円/3歳以上小学生まで)
学生2,500円(大学生・専門学生・中高生の方対象)

【チケット発売開始日】2017年12月2日(土)

【チケットに関するお問い合わせ】パルコステージ

03-3477-5858 (月～土 11:00～19:00/日・祝 11:00～15:00)

<http://www.parco-play.com/>



Vince Mendoza (ヴィンス・メンドーザ) (フィリピン)
ダンサー、振付家。UK B-Boy Championship Poppin' フィリピン代表。2016年にハンガリーの Get Down Poppin'、ベトナムの Together Time オールスタイルで優勝。同年、香港で開催された SDK ASIA 2016 で「TEAM X」として優勝。ユニット「Prince&Vince」で2010年、2012年、2016年の Juste Debout に参加。ラコステ、ディーゼルなどのショーやMV、CMなどの振付を多数手がける。2015年、「Philippine Allstars」のメンバーとして来日し、DANCE DANCE ASIA 東京公演に出演。2016年12月には DANCE DANCE ASIA 東京公演にて自身の振付・演出作品『Hilatas<君を導く光>』を初演、2017年4月にはハノイ(ベトナム)・マニラ(フィリピン)公演で同作を再演した。



Fabien Prioville (ファビアン・プリオヴィル) (フランス)
振付補佐・ドラマトゥルク
ダンサー、振付家。フランスの Centre National de Danse Contemporaine (CNDC) 卒業後、デヴィッド・ボウイ、フランク・ザッパなどのロックミュージシャンとのコラボレーションで知られるカナダの「ラ・ラ・ラ・ヒューマン・ステップス」での活動を経て、1999年に「ピナ・パウシュヴッパタール舞踊団」のメンバーとなる。2006年からフリーランスダンサー、振付家として活動。2010年には「ファビアン・プリオヴィル・ダンス・カンパニー」を設立。2017年9月に上演される演劇集団円の『DOUBLE TOMORROW』では構成・演出を担当。



黄帝心仙人 (こうていせんんにん) (日本)
ダンサー、振付家、クリエイター。世界一のダンスチームを決める「ジャパンドダンスディライト」、日本一のパフォーマーを決めるコンテスト「POWER EGG 2006」で優勝。さらに自身が振付・出演したユニクロのCMがカンヌ国際広告賞を初め、世界三大広告賞を含めた23タイトル獲得という日本初の快挙を成し遂げ、世界で高い評価を得ている。ダンス界のみならず世界中のクリエイターからの注目を浴びる。アニメーションの要素を取り入れた人間離れしたボディコントロールと、詩的なストーリーによって生み出される、作品の独自性や透明感には定評がある。DANCE DANCE ASIA では、自らのプロデュースユニット「Time Machine」を率いて、2015年にクアラルンプール(マレーシア)とジャカルタ(インドネシア)で公演とワークショップを行い、アジアのファンから熱狂的に迎えられた。アーティストネームの黄帝心仙人の「心」が音読されないのは、「“心”は、読めないから」。



Hamdi Fabas（ハムディ・ファバス）（インドネシア）ダンサー、振付家。オーストラリアで育つ。インドネシアを代表するダンス・アイコン。4年6ヶ月の間にインドネシアで大人気を博した2つのTV番組で審査員を務める。1997年よりアーバン・ダンス文化とエンタテインメント業界のサポートを開始。2003年にインドネシア初のダンス企業、Bboy Indonesia（Bboyindo）を設立。2011年には Fabas ART Dance Productions を「P.H.A.T crew」の Sabina Jacintha とともに立ち上げる。また、自身のクリエイティブな活動と並行して、MintZ Nge-DanZe GokilZ の審査員を務めるなど、インドネシアのダンスの発展と青少年の育成にも力を注いでいる。

主催



国際交流基金アジアセンター <http://jfac.jp/>

独立行政法人国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、全世界を対象に総合的に国際文化交流事業を実施する日本で唯一の専門機関です。アジアセンターは2014年4月に設置され、ASEAN諸国を中心としたアジアの人々との双方向の交流事業を実施・支援しています。

日本語教育、芸術・文化、スポーツ、市民交流、知的交流等さまざまな分野での交流や協働を通して、アジアにともに生きる隣人としての共感や共生の意識を育むことを目指しています。



株式会社パルコ <http://www.parco.co.jp/>

株式会社パルコが担うエンタテインメント事業は、演劇や音楽、映画、アートの分野で新しいカルチャーを積極的に紹介し、話題性の高い情報発信と付加価値の創造に取り組んでおります。2011年からは新しいエンタテインメントとしてストリートダンス舞台公演、ASTERISK、s*t kingz、東京ゲゲゲイ、Shibuya StreetDance Week、また国際交流基金アジアセンターとの共催事業ダンス・ダンス・アジアなど話題の企画を国内外に発信しております。

※ 全てのプログラムの内容は予告なしに変更になる可能性があります。

【添付資料】

DANCE DANCE ASIA-Crossing the Movements 活動紹介

ストリートダンスの舞台公演で、アジアをつなぐプロジェクト DANCE DANCE ASIA。2015 年から意欲的なプログラムを展開しています。以下、活動内容の概要です。

2015 年

フィリピン（1月）、マレーシア（2月）、ベトナム（3月）、タイ（3月）、インドネシア（8月）、カンボジア（12月）、ラオス（12月）の7カ国で、日本のダンスグループによる舞台公演とワークショップを実施。

2015年10月、世田谷パブリックシアターにて、日本を代表するダンスグループと、フィリピン、タイ、ベトナムの実力派ダンスグループ、そして国内オーディションで選抜された日本のダンスグループの舞台作品を上演。多彩な作品内容はもちろんのこと、「ストリートダンスによる舞台公演」という、パフォーミングアーツの新たな潮流にも注目が集まりました。

同年11月、日本とアジアの文化交流を図りつつ、世界中から注目されるアジアのストリートダンスを聖地・渋谷から国内外に発信するフェスティバル Shibuya StreetDance Week に参加。oguri (s**t kingz/日本)、Jillian Meyers (アメリカ)、スズキ拓朗 (日本)の若手クリエイター3名による総合演出・振付作品『A Frame』の世界初演を行いました。出演したのは、日本、インドネシア、フィリピン、ベトナム、マレーシア出身の90年代生まれのダンサーによるスペシャル・ユニット、The90sASIA。世界の若者の共通言語であるストリートダンスの、新しい表現の可能性を実証するものとして高い評価を受けました。

2016 年

ダンサーとしても活躍している牧宗孝 MIKEY from 東京ゲゲゲイ（日本）、Vince Mendoza (フィリピン)、LION T (ベトナム) の3人を振付・演出家として起用。2016年12月9日（金）から12月11日（日）までの3日間、東京芸術劇場シアターイースト（池袋）で計4回公演、様々な文化背景をもつダンサーたちが多彩な表現力と卓越したテクニック、音楽が融合した3作品を披露しました。

公演に先立ち、2016年9月と10月にマニラ（フィリピン）、ハノイ（ベトナム）で第一回目のクリエイションを実施、11月下旬からは東京でのリハーサルで各作品を仕上げていきました。海外でのリハーサル映像はSNSやFRESH! (Abema TV) で公開されました。

さらに、2017年4月にはハノイ（ベトナム）とマニラ（フィリピン）で同3作品を再演し、大きな話題となりました。

###

活動の詳細や映像は公式ホームページ <http://dancedanceasia.com/> をご参照ください